

米販売動向調査について（全米販調査：令和3年6月分）

1. 調査期間 令和3年6月21日（月）～令和3年7月12日（月）

2. 回答数 61組合員

3. 調査結果概要

Q1：昨年6月と比べた令和3年6月（1か月）の米販売量

「減った」が一番多いものの、それ以外の回答もそれぞれ一定数あり、コロナ禍での販売状況は、地域・販売先等によってばらつきが見受けられる結果となった。

Q3：3か月前（令和3年3月）と比べた販売動向

「やや良くなっている」と「変わらない」が最も多いが、「やや悪くなっている」「悪くなっている」も一定数あり、DI値は「48.8」と50を若干割り込んだ。

Q5：3か月先（令和3年9月頃）の見通し

「変わらない」が一番多く、「やや良くなる」が「やや悪くなる」を上回り、DI値は「51.2」。

4. 集計結果

Q1：昨年6月と比べた令和3年6月（1か月）の米販売量

回答者数（会員）					
合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
61	11	11	11	10	18
100.0%	18.0%	18.0%	18.0%	16.4%	29.5%

Q3：3か月前（3年3月）と比べた販売動向

回答者数（会員）					
合計	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
61	8	15	15	12	11
100.0%	13.1%	24.6%	24.6%	19.7%	18.0%

DI値
48.8

(参考) 規模別 DI値		
規模A	規模B	規模C
50.0	51.3	46.9

Q5：3か月先（3年9月頃）の見通し

回答者数（会員）					
合計	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
61	1	18	29	9	4
100.0%	1.6%	29.5%	47.5%	14.8%	6.6%

DI値
51.2

(参考) 規模別 DI値		
規模A	規模B	規模C
47.2	56.3	49.2

※企業規模について

規模A：米穀の売上高が年間100億円以上、規模B：米穀の売上高が年間25億円以上～100億円未満

規模C：米穀の売上高が年間25億円未満

～主な回答理由～

Q1：現在（3年6月）の米販売量（前年同月との比較）

- 緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の影響で、再び業務用向け販売が減少した。
- 昨年は1回目の緊急事態宣言の反動で落ち込んだが、今年は対象地域ではなかったので大きな影響は無かった。
- 弁当・総菜向けは増えているが、外食や給食向けは減っている。さらに、量販店の動きに落ち着きが見られ、米消費自体が減っていると推測される。
- 消費者の購入先が変化し、ネット販売、Dgs、Ds業態の割合が増え、SMは縮小傾向にある。

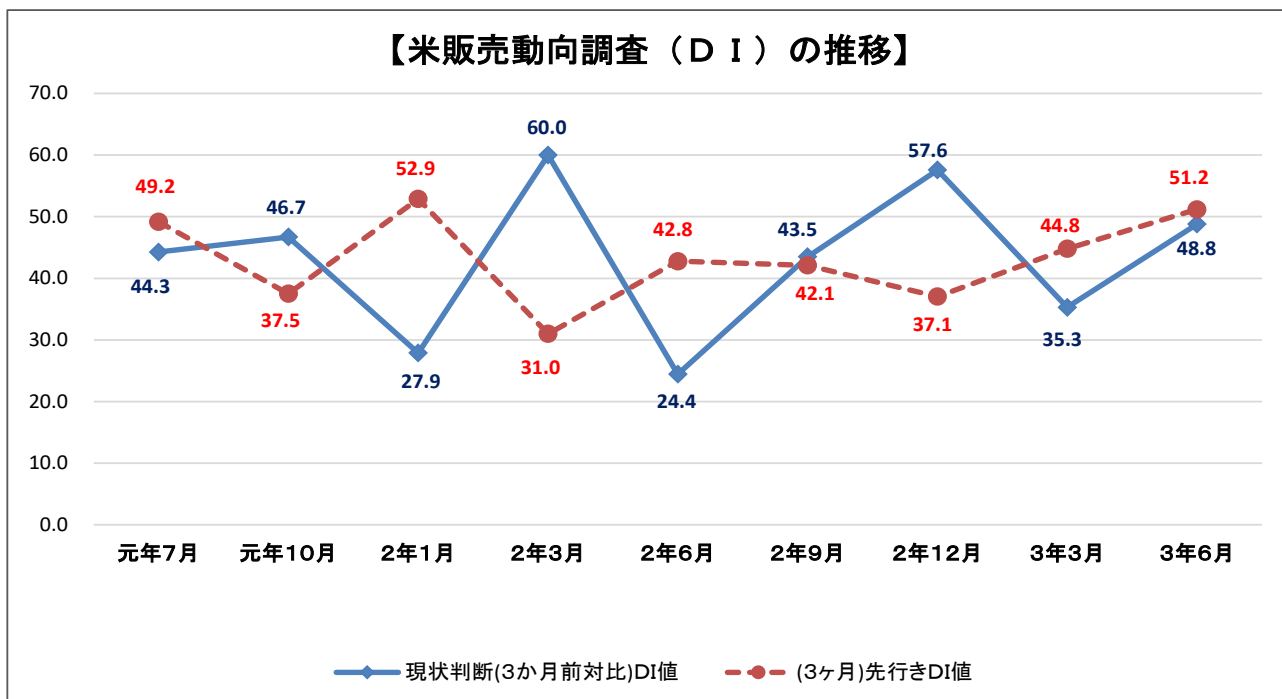
Q3：過去（3か月前）と現在の動き

- 卸間売買や米穀店等への玄米販売が増加している。
- 飲食店での営業制限（自粛）が続いているため、外食向けは相変わらず低調だが、量販店は好調が維持されている。
- 精米販売は変わらないが、県外産の値下がりにより、自県産米の玄米販売が落ち込んだ。

Q5：将来（3か月後）の動き

- 外食等での営業制限（自粛）が解除されていけば、米販売の流れが好転に向かうと思われる。
- ワクチン接種が進むことにより、3か月後～年末に向けて業務用需要が高まっていくことを期待。
- 緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が続くようであれば、量販店では一定量の販売が見込める。

【米販売動向調査（DI）の推移】



Q2：昨年6月と比べた令和3年6月（1か月）の米販売量

<仕向先別>	合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
(小売店向け)		%	%	%	%	%
大手スーパー	100%	5.4	29.7	27.0	21.6	16.2
中小スーパー	100%	9.1	20.0	29.1	20.0	21.8
米穀専門店	100%	3.6	5.4	26.8	32.1	32.1
その他	100%	15.9	11.4	15.9	22.7	34.1
(外食産業向け)						
外食向け	100%	3.8	7.5	22.6	37.7	28.3
中食向け	100%	1.8	10.7	44.6	21.4	21.4
給食向け	100%	3.7	9.3	57.4	13.0	16.7

Q4：3か月前（令和3年3月）と比べた販売動向

<仕向先別>	合計	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている	DI指数
(小売店向け)		%	%	%	%	%	
大手スーパー	100%	2.7	16.2	51.4	13.5	16.2	43.9
中小スーパー	100%	1.8	18.2	43.6	20.0	16.4	42.3
米穀専門店	100%	1.8	5.4	39.3	25.0	28.6	31.7
その他	100%	6.3	14.6	27.1	20.8	31.3	35.9
(外食産業向け)							
外食向け	100%	3.8	7.7	44.2	23.1	21.2	37.5
中食向け	100%	3.6	8.9	51.8	23.2	12.5	42.0
給食向け	100%	3.7	3.7	70.4	16.7	5.6	45.8

Q6：3か月前（令和3年9月頃）の見通し

<仕向先別>	合計	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる	DI指数
(小売店向け)		%	%	%	%	%	
大手スーパー	100%	0.0	26.3	50.0	15.8	7.9	48.7
中小スーパー	100%	0.0	21.8	56.4	12.7	9.1	47.7
米穀専門店	100%	0.0	20.0	41.8	21.8	16.4	41.4
その他	100%	0.0	15.6	42.2	28.9	13.3	40.0
(外食産業向け)							
外食向け	100%	0.0	49.1	35.8	11.3	3.8	57.5
中食向け	100%	0.0	33.9	51.8	10.7	3.6	54.0
給食向け	100%	0.0	16.7	74.1	7.4	1.9	51.4

*DI（diffusion index）の算出方法：内閣府で発表している「景気ウォッチャー調査」方式を採用した。具体的には、5つの回答選択肢に均等に0～1の評価点を与え、各回答の構成比に対応するそれぞれの評価点を乗じ、それらの合計を指数(%ポイント)としてDI値を算出。それが50の場合は横ばい(現状維持)を示す。0に近づくほど販売が低迷傾向にあることを示し、逆に100に近づくほど販売が好調傾向であることを示す。

(算出例)	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
評価点 A	1	0.75	0.5	0.25	0
結果(構成比) B	17.8	20.0	20.0	22.2	20
各DI値 C=A×B	17.8	15	10	5.6	0
DI値(合計)	48.4→米販売の動きはほんの少し低迷傾向				